



日中関係史 PART3

CLASS NAME

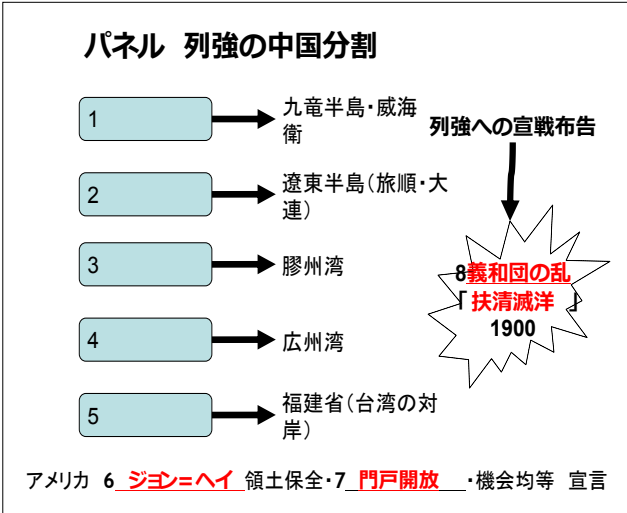
■列強による中国分割 強いと思っていた清が弱いぞ！

■北清事変後ロシアが満州を占領、日露戦争の引き金に

1900 北清事変 (列強 8 カ国清を降伏させる)
 1901 1 北京議定書 (賠償金の支払い、列強軍隊の駐留権など清が認める)

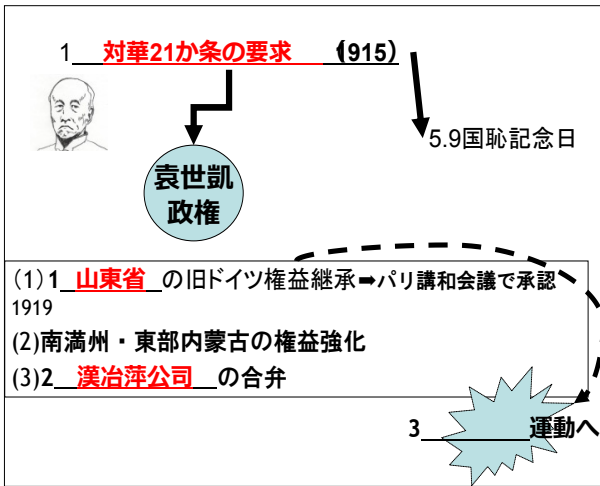
1911 辛亥革命 ⇒ 中華民国 (1912)
 建国 (臨時大統領 2 孫文)

1913 中華民国大統領就任 ⇒ 3 袁世凱



■大隈内閣、21 か条の要求を袁世凱に突きつける！

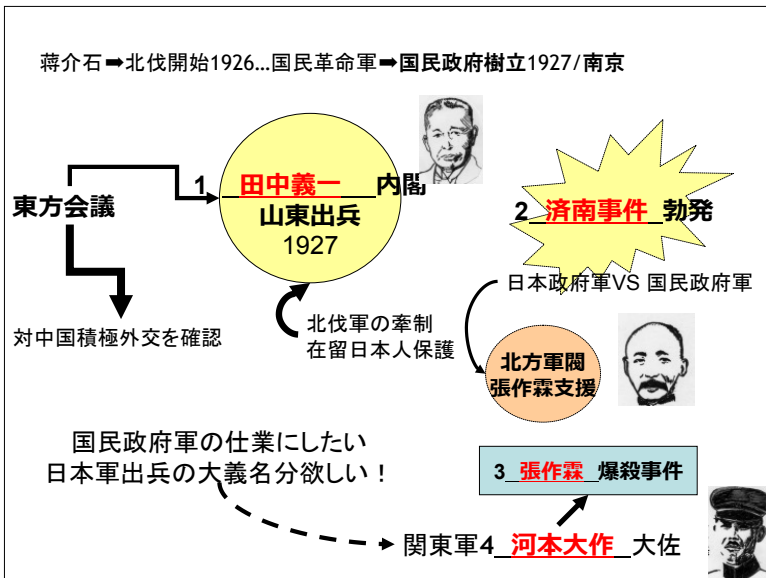
1917-18 4 西原借款 = 5 寺内正毅 内閣 ⇒ 6 段祺瑞 ← 権力強化して中国を統一させる狙い (日本)



■ウィルソンの 14 か条の影響で反日五・四運動

1918 アメリカ大統領 1 ウィルソン
 ⇒ 14 か条の提案 (国際平和・民族自決)
 1919 2 パリ講和会議 開催
 (山東半島の旧ドイツ権益の返還要求 (中国))
 権益は日本へ
 1919 3 五・四運動 ~ (反日運動)
 1922 ワシントン会議の 4 九カ国条約 で返還合意

■北伐開始



1931年、柳条湖事件で満州事変勃発！

田中義一内閣⇒天皇の不信で退陣

1930 ロンドン海軍軍縮会議⇒統帥権干犯問題

1931 三月事件 by5 桜会

1931 中村大尉事件、万宝山事件発生⇒日本では強硬論台頭



1931 6 柳条湖 事件発生 (7 奉天 郊外) 関東軍参謀 8 石原莞爾 ・板垣征四郎

1931 満州事変勃発

若槻内閣は不拡大方針⇒関東軍は無視、占領地の拡大

1932 日本軍は列強の目を満州からそらすため⇒9 上海事変 起こす

国民政府⇒国際連盟提訴⇒10 リットン調査団 派遣

満蒙開拓、満州への移民が本格化

1932.5.15 11 五・一五事件 (12 犬養毅 首相暗殺) by 海軍青年将校

1932 10 満州議定書 ⇒齊藤実内閣、満州国独立宣言(執政⇒11 溥儀)

1933 塘沽停戦協定 = 満州事変終了⇒華北分離工作 (傀儡政権を華北におく)
国民政府 VS 中国共産党⇒内戦状態

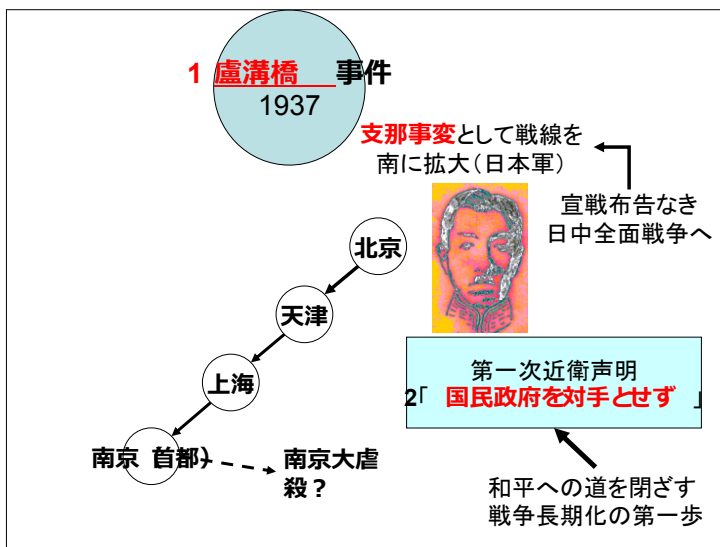


1936年、西安事件を契機に第二次国共合作

1936 1 西安事件 = 張学良が蒋介石を西安で監禁 (内戦停止と抗日を認めさせた) ⇒和解成立

1937 第二次国共合作

1937年、盧溝橋事件で日中前面戦争！



国民政府⇒南京から重慶へ (蒋介石)

1940 国民政府の NO2 である

3 王兆銘 は親日政権南京国民政府を樹立 (和平試みるが失敗 by 日本)

■戦後

1945 8.8-9 日ソ中立条約を破棄したソ連が満州に侵攻⇒シベリア抑留 (捕虜として連行約 60 万)

中華人民共和国の時代

1949 中華人民共和国建国 (主席: 1 毛沢東) 蒋介石⇒台湾で 2 中華民国 二つの中国

1962 3 LT貿易 = 高碓達之助・廖承志⇒準政府間貿易 (国交のない国同士の貿易)

1972 4 日中共同声明 = 5 田中角栄 内閣 (台湾と断交)

1978 6 日中平和友好条約 = 7 福田赳夫 内閣 → 日中国交正常化へ